

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岡山プロフェッショナル・ビューティ専門学校
設置者名	学校法人 岸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	エステビューティ学科	夜・通信	849時間	80時間	
専門課程(上級学科)	トータルエステティック学科	夜・通信	1465時間	80時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) ・令和5年4月からトータルエステティック学科は、エステビューティ学科を修了した者が進級できる、上級学科となりました。 ・令和5年度のトータルエステティック学科2年生が終了年度生となる。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

- ・学校ホームページ <https://www.okapro.ac.jp> 情報公開欄：確認申請書へ記載
- ・事務局情報公開資料にて閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡山プロフェッショナル・ビューティ専門学校
設置者名	学校法人 岸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

- ・学校ホームページ <https://www.okapro.ac.jp>
情報公開欄：役員名簿へ記載
- ・事務局情報公開資料にて閲覧可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人理事長	R7.5.17～ R10.5.16	運営・医療関連助言
非常勤	社会保険労務士	R7.5.17～ R10.5.16	教育関連助言
非常勤	大学講師	R7.5.17～ R10.5.16	運営・保険関連助言
(備考) 他2名の理事は常勤の学校関係者である。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山プロフェッショナル・ビューティ専門学校
設置者名	学校法人 岸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本校における授業計画は、関連団体が行う民間資格を取得する事を目標としている。この各種資格試験内容は随時改正が行われている事から、技術・知識の修得が行われるよう授業内容の改正を行っている。 授業計画は昨年度授業計画を元に各教科担当教員が教務科と協議し前年度末(3月)に作成、後期分(10月～3月)は前期修了前(8月)に見直しを行う。学生への公表は各学期始め(4月および10月)ガイダンスにて行う。 内容公開については、事務局を始め各担任担当教員は閲覧できる状態を保っている。	
授業計画書の公表方法	・学校ホームページ https://www.okapro.ac.jp - 情報公開欄：授業計画書へ記載 ・事務局情報公開資料にて閲覧可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 年間を前期・後期の2期制としており、各期において科目内試験、中間試験および期末試験(筆記・実技試験)などを実施している。 進級時本校では(1年課程は卒業時)課題作成提出を必須としており1年次で所属する協会より1000時間の認定校として2月実施のエステティック上級資格を受験するため履修時間を1100時間としている。 2年上級課程においては症例研究レポートが国際試験には必須とされこのレポートを元に卒業時に研究レポート発表会を実施。2年課程が所属する国際共通団体『CIDESCO』(シデスコ)の国際認定校としてCIDESCO 国際ビューティセラピスト試験(毎年秋実施予定)を受験するため履修時間を2000時間としている。各学生は、遅刻・欠席等による授業不参加時間はすべて補習により補う。(補習は30分単位で実施。前期60時間、後期40時間まで無償の補習である。) 成績評価は、各期中間・期末試験および科目内試験、提出物等での総合判定。学則に従い90点以上100点まで【秀】、80点以上90点未満【優】、70点以上80点未満【良】、60点以上70点未満【可】、60点未満を【不可】。但し資格試験の合格点が7割以上のため校内試験においても70点以上を合格とし、これに満たない場合は課題提出をはじめ再試験を行っている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価については、各期において科目内試験および中間試験、期末試験を実施。 (筆記・実技試験) 提出物等も含めて総合的に成績判定をしている。 成績評価は、学則第10条、細則7条に従い【秀】は90点以上100点まで、【優】は80点以上90点未満、【良】は70点以上80点未満、【可】は60点以上70点未満とし【不可】は60点未満とする。ただし、各資格試験の合格点が7割とされていることから校内試験においても70点以上が合格とし、これに満たない場合は課題提出をはじめ再試験を行っている。 学年ごとに成績一覧表を作成、学年での順位を算出し指導の参考としている。 個人別の成績は個人点と平均点を記載した「成績表」を作成して定期試験後、学生との二者懇談を行っている。各学年7月・12月には保護者との懇談を実施している。各学年の記録としている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	・学校ホームページ https://www.okapro.ac.jp 情報公開欄：成績評価・卒業基準へ記載 ・事務局情報公開資料にて閲覧可能
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取り組みの概要) 卒業に必要な時間数および評価は次のとおりとする。 ①各科目で定める年間履修時間(必須時間)を各学期において履修していること。但し前期で定める履修時間に到達していない者も学校長の許可により後期において年間履修時間を履修できる場合はこの限りでない。 ②総合評価が各学期および各学年において全て【可】以上の評価を得ていること。 ③1年課程の学生は卒業作成提出(2年進級学生も同じ)を提出した者。 上記の①②③全てを満たした場合、卒業証書を授与する。(学則第19条) 2年上級課程「トータルエステティック学科」への進級については次のとおりとする。 ①1年課程の全ての科目について修了した者。 ②1年課程時の定められた進級懇談において上級学科への進級を強く希望し学校長からの報告および許可を得ている者。 2年上級課程「トータルエステティック学科」の卒業については次のとおりとする。 ①2年課程の各科目で定める年間履修時間(必須時間)を各学期において履修していること。但し前期で定める履修時間に到達していない者も学校長の許可により後期において年間履修時間を履修できる場合はこの限りではない。 ②総合評価が各学期および各学年において全て【可】以上の評価を得ていること。 ③2年学科の学生は、研究レポート又は症例研究レポートを提出した者。 上記の①②③全てを満たした場合、卒業証書を授与する。(学則第19条)	
卒業の認定に関する方針の公表方法	・学校ホームページ https://www.okapro.ac.jp 情報公開欄：成績評価・卒業基準へ記載 ・事務局情報公開資料にて閲覧可能

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岡山プロフェッショナル・ビューティ専門学校
設置者名	学校法人 岸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	・学校ホームページ https://www.okapro.ac.jp - 情報公開欄：計算書類へ記載 ・事務局情報公開資料閲覧
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛 生		専 門	エステビューティ	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1 1 0 4 時間	3 0 3 時間	時間	4 0 時間	時間	7 6 1 時間
			1 1 0 4 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2 0 人		1 1 人	0 人	6 人	0 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業は講義・実習・実技のいずれかの形式により毎週行う。授業時間は60分を1時間とする。1年を前期・後期の2期に分け期末毎に試験を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の履修時間は全て履修する。欠席・遅刻・早退も未履修時間は全て補習等で履修する。 成績評価は各期内に定期試験等を行い学則に従った成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各期末において、全ての科目の履修時間と成績評価が基準を満たした者が進級および卒業できる。
学修支援等
（概要） 担任制を導入し定期二者面談（3回／年）の他、7月と12月は保護者等授業参加と面談を実施。また、進路担当教員との就職面談を随時行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	6人 (43%)	8人 (57%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） エステティック関連企業			
（就職指導内容） 毎年5月上旬より企業説明会を実施。 履歴書を始めとする就職関連書類の作成指導。また、進路担当教員との就職懇談を随時 行い面接指導等を放課後等で行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） メイク関連資格、ネイリスト検定、アロマ検定、エステ認定上級資格、衛生管理士、 美肌検定、日本化粧品検定			
（備考）（任意記載事項） 1年次はコース分けすることなくエステティシャンに必要な知識・技術を習得し 各種資格は全員が受験し毎年全員合格している。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 該当者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・担任等による、定期的な面談をはじめ就職指導および懇談も常時実施しており、学生の様子や就職希望等の懇談内容を職員朝礼にて各教員へ状況報告している。 ・年2回の保護者懇談および学生の気になる様な状況は、連絡網を使用しご家庭と連絡し状況報告するとともに、休学・退学等の決断をする前に学科変更（通信）を含め関連企業や同サロン（ネイル等）への転学等も説明し本来の美容業界での活躍が切れることなく支援を引き続き行っている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
衛 生		専 門	トータルエステティック		○	－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	2 0 0 4 時間	5 5 9 時間		1 3 6 時間		1 3 0 9 時間
			2 0 0 4 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2 0 人		0 人	0 人	6 人	0 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 従来のトータルエステティック学科の2年生が令和5年度を以って終了年度生となり、令和5年度より新しい学科として開始。1年学科を修了した学生が進学する上級学科となった。 授業は従来どおり変わることなく、講義・実習・実技のいずれかの形式により毎週行う。授業時間は60分を1時限とする。年度を前期・後期の2期に分け期末毎に試験を行う。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 各科目の履修時間は全て履修する。欠席・遅刻・早退も未履修時間は全て補習等で履修する。 成績評価は各期内に定期試験等を行い学則に従った成績評価を行う。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各期末において、全ての科目の履修時間と成績評価が基準を満たした者が進級および卒業できる。	
学修支援等	
（概要） 担任制を導入し定期二者面談（4／年）の他、7月と12月は保護者等授業参加と面談を実施。また、進路担当教員との就職面談を随時行っている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 卒業生6名全員が国際エステティック資格を取得し、6名全員がエステティック関連企業へ就職内定となった。			
（就職指導内容） 毎年5月以降企業説明会を実施。 履歴書を始めとする就職関連書類の作成指導。また、進路担当教員との就職懇談を随時行い面接指導等を放課後等で行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） メイク関連資格、ネイリスト検定、アロマ検定、エステ認定上級資格、衛生管理士、美肌検定、ジェルネイル初級、シデスコ国際ビューティセラピスト資格			
（備考）（任意記載事項） 1年次はコース分けすることなくエステティシャンに必要な知識・技術を習得し各種資格は全員が受験し毎年全員合格している。 2年次は各学生の就職先状況に合わせて各種上級の資格を目指す。 シデスコ国際認定校の認可を取得している学校は、全国で20校（2025年現在）しかなく本校2年学科ではシデスコ国際ビューティセラピスト資格を目指す学科であり、国際認定校の認可後8年連続で全員合格しており、延べ45名の国際エステ資格保持者を排出している。（2025年現在）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 該当者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・2年学科においては、国際エステ資格を取得したいと強い意志を持った学生が進級しているので、1年次の学生および保護者の連携を確立させ学生の日々の成長をモデルとして授業参加や懇談などで連携・連絡をより密にしている。 【1年次からの引き続きの取組】 ・学生の変化または何かの兆候を教職員が感じた場合に、その情報を職員朝礼および教職員報告事項として情報共有を図る。 ・該当学生に担任または担当の教員との懇談の場を設け、状況確認とその情報を全教員に報告した上、場合により保護者との懇談会を実施することとしている。 ・入学前より保護者の方とSNS等による連絡網を確立させており定期的に学校からの連絡や学生状況等の連絡が密になる様な取組を実施。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
エステビジュアルティ	100000 円	720000 円	540000 円	実習費、設備費、教材
トータル エステティック	0 円	600000 円	400000 円	2 年次実習費、設備費、教材
修学支援(任意記載事項)				
■ 令和5年度よりトータルエステティック学科入学生の募集停止とし入学定員0名。 ・姉妹入学生の入学金免除 ・県外からの下宿生へ生活支援金給付, 遠方通学生への通学支援金給付(本校規定にて)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
・学校ホームページ http://www.okapro.ac.jp 情報公開欄: 学校自己評価へ記載 ・事務所情報公開資料にて閲覧		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
・学校関係者評価委員会を現在定員5名とし年1回(4~5月まで間)開催する。 学校関係者評価委員会実施前に御父母および学生へのアンケート調査を実施して自己評価結果委員会実施。学校関係者評価委員会において自己評価結果の透明性と客観性を高めている。 ・学校関係者評価委員による評価項目は以下の10項目について行なっている。 (1) 教育理念・目標・人材教育 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 教育成果 (5) 学生支援および御父母との連携 (6) 教育環境 (7) 学生募集・受入れ・入試制度 (8) 財 務 (9) 法令遵守 (10) 社会貢献 ・評価結果は改善点について理事会および職員会議等にて検討議案として活用。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
サロン経営者	R6.4.13 ~ R8.3.31	関連企業有識者(評議員)
サロン経営者	R6.4.13 ~ R8.3.31	関連企業有識者(評議員)
会社勤務	R6.4.13 ~ R8.3.31	学生御父母
関連企業 企業内教育担当者	R6.4.13 ~ R8.3.31	関連企業有識者
ネイルサロン経営者	R6.4.13 ~ R8.3.31	関連企業有識者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
・学校ホームページ http://www.okapro.ac.jp 情報公開欄: 学校関係者評価へ記載 ・事務局情報公開資料にて閲覧可能		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
・学校ホームページ http://www.okapro.ac.jp 情報公開欄: 各項目へ記載 ・事務所情報公開資料にて閲覧